



飯田 技師

平成29年度採用

経歴

平成29年～ 県土整備部道路課
 令和2年～ 下北地域県民局地域整備部
 令和4年～ 東青地域県民局地域整備部
 令和7年～ 現所属

とある1日のスケジュール

8:30 業務開始、メールチェック
 10:00 担当工事①の施工検査
 12:00 昼休み
 13:00 担当工事②の進め方について業者と打合せ
 15:00 担当工事③の設計内容(図面等)の確認
 17:15 業務終了

総合土木 県土整備部 上北県土整備事務所



現在の主な業務内容

新しくバイパスなどを建設する道路整備工事や、古くなってしまった橋梁を架け替える工事の発注・監督業務を担当しています。

仕事をする上で心掛けていること

自分が整備する道路が、将来どのように使われるかを想像することです。同じ現場は一つもないので、地形・予算などそれぞれの現場の制約条件の中でより良い選択を行うには、使う人の立場に立って考えることが重要だと思います。

業務を通じて、こんな青森県づくりを目指したい!

新しい道路ができることで、地域と地域の距離が近くなって人やモノの移動が活発・円滑になり、また沿線が開発されて地域の活性化につながります。道路整備を通じて、皆さんが楽しく安全に暮らせる青森県づくりを目指したいです。

設備 県土整備部 青森空港管理事務所



福田 技師

令和7年度採用



現在の主な業務内容

青森空港電気設備のうち、立体駐車場にある電気設備や航空障害灯の保守点検、修繕を担当しています。また、滑走路面及び航空灯火の目視点検や小型機の離着陸スポット調整も行っています。

青森県職員を志望した理由

人口減少に伴う社会インフラの取捨選択や管理形態の変化を見据えたインフラ整備計画を目にしたことがきっかけです。インフラの老朽化が深刻なことを肌で感じ、所有施設数、規模が大きい県行政において、喫緊の課題だと感じ志望しました。

仕事をする上で心掛けていること

報連相です。業者さんと二人三脚で仕事を進めていくため重要です。意思疎通に問題があると、手戻りの発生など多くの方に迷惑をかけることもあるため、心掛けています。

建築 県土整備部 西北県土整備事務所

[社会人枠採用]



石村 技師

令和7年度採用



現在の主な業務内容

住宅から病院、学校、商業施設等のあらゆる建物の建築計画に対して建築基準法に照らして適合しているかを審査し、建築行為の許可を与える、建築確認申請の審査を担当しています。

民間からの転職を考えたきっかけ・青森県職員になって感じた民間との違い

施工者として建築現場を管理、運営する立場でしたが、計画や発注、監理をする立場となり、同じ業界内でも違う視点から建築にアプローチしてみたいと思ったからです。

民間との違いは、多様な働き方をサポートする制度が充実しているので仕事とプライベートを両立させやすいことです。

青森県の好きなところ

地域に根付いた祭りや行事を通して、人と人とのつながりが濃く、誰でも仲良くなれるアットホームな雰囲気、県民性が好きです。

人との距離が近く、地域を支える仕事が多くやりがいがあります。

青森県職員(社会人枠採用)を目指す方へのメッセージ

民間で培ってきた経験、技術、知識を活用し、自らの手で青森県の未来と一緒に開拓しませんか?



松山 主事

令和7年度採用

心理 こども家庭部 中央児童相談所



現在の主な業務内容

児童相談所で児童心理司として働いています。18歳未満の子どもに関する相談を受け、心理検査や面接を通して子どもの特性や必要な支援について助言をしています。

青森県職員を志望した理由

青森県の子どもがより暮らしやすいような環境を作る手助けをしたいと思い、志望しました。生まれた場所や家庭環境に左右されず、安心してのびのびと成長できる手助けをしたいと考えています。

やりがい・達成感を感じる時

入庁してから多くの心理検査を学び、それを子どもに実践できたときにやりがいや達成感を感じます。先輩職員と練習してアドバイスをいただき、安心して実践に移すことができました。

保健師 健康医療福祉部 東津軽保健所



伊藤 技師

令和3年度採用

現在の主な業務内容

感染症の発生に備えた体制づくりや感染症が発生した際の調査・指導など、感染症の予防とまん延を防止するための業務を行っています。

やりがい・達成感を感じる時

感染症の治療を終えた県民の方から、これまでの支援に対する感謝の言葉をいただいたときに、自身の知識・技術がどれかの役に立っていることを実感し、やりがいを感じました。

仕事をする上で心掛けていること

行政保健師として、県民にとって身近で頼れる存在でありたいと思っています。そのために、正しい知識・技術を身に付けて県民に適切な情報を提供すること、誠実な姿勢・対応により信頼関係を築くことを心掛けています。



経歴

令和3年～ 上北地域県民局地域健康福祉部保健総室
令和6年～ 現所属

とある日のスケジュール

8:15 業務開始、メールチェック
9:00 研修会資料作成
11:00 研修会について課内打合せ
12:00 昼休み
13:00 結核患者を訪問し服薬支援
15:00 訪問記録作成
17:00 業務終了

職員育成・研修制度・キャリア形成

新採用者研修

前期(4～5月頃)と後期(9～10月頃)に各3～4日間程度、公務員としての心構えや、業務を行う上で必要となる基礎知識等について学びます。

トレーナー制度

新採用職員の不安や悩みを解消するため、トレーナーに選任された先輩職員が新採用職員の相談相手となり、職場での基本的なルールや日常業務の進め方について助言します。

自己啓発eラーニング

新たなスキルや知識を習得するリスキリングやスキルアップのため、インターネットを活用したeラーニングの機会を提供します。

このほかにも、職員が能力開発やキャリア形成に主体的に取り組めるような、様々な研修を行っています。

詳細はこちらから



自己申告制度

職員の自発性を重視した人事管理や職場管理を行うため、直接、職員自身から業務の目標や成果、自己の能力活用・能力開発及びキャリアビジョンに関する意見、勤務地や勤務所属についての希望などを申告してもらうものです。

庁内公募制度

職員のキャリア形成意欲の喚起や自己啓発の促進を図るため、特定の業務への従事を希望する職員を庁内から募集及び選考し、配置する制度です。